

雨どい。織田信長の寄贈。悪趣味かなとおもいつつも鳴かぬなら殺してしまえの豪傑さ。昼食は三笑亭：名物のてんぷら、百余年の歴史。底が抜けないかと心配。食事を通しての印象。ご飯がちょっと？米？炊き方？その後、アサヒビール大山崎山荘美術館：加賀正太郎氏建築の建物、ゲストルーム、ランの栽培所。遊びって大事だな。天下を取ったような気分。鎌谷会員の計らいにより学芸員の方の説明。新島八重絡みの新島旧邸。大河ドラマでブーム。「まあこんなもんかな」夕食は松喜屋：肉・すきやき一しつこいかなとの心配…年寄りにはきついとのクレーム。

琵琶湖博物館（びわ湖ホールも含め）

好きなもの—環境（琵琶湖の排水基準）文化（彦根）嫌いなもの—経済、便利さ、成長戦略

**白崎祐二会員**

【講演前の挨拶】

河本英典ガバナー：新会員に“面白い”と思ってもらえたからそれでいいと開催、途中でいなくなるのがロータリーの特徴であるけれども可能な限り最後までいてほしい。松宮国際ロータリー会長代理：ロータリーの全体的な魅力にふれて欲しい！世界中に120万人の友人が出来たと思い、色々な会合にも出席して欲しい。様々な場面で歓迎される。職業人としての深まりを果たして欲しい。富田地区研修リーダー：ロータリーをよく理解して、良く楽しんで欲しい。

【講演内容】

講演タイトルは「天寿退会」とても優しい声で語りかけてくる。今、あなたはなぜここにいるのか？なぜロータリアンになったのか？ロータリアンとして何が出来ますか？1905年のシカゴ、ポールハリス、騙された方が悪いという商習慣（偏見かもしれないが今の中か？）

寛容と絆：フェローシップとは寛容を基盤とし敬と礼の心、寛容とは相手を認め尊重すること、ロータリーは人の心に芽生えた。ロータリーはあなたの心の中にある。

奉仕活動：奉仕の理想とは相手を察し思いやりの手を差し伸べること、サービス＝奉仕、いい日本語訳がない、熟慮の結果の思いやり、相対する者への理解、それが奉仕の出発点。無心の境地：ロータリーは道場、するしないはあなた次第。個人生活、事業生活、社会生活において奉仕の理想を実践する。

ロータリークラブでの奉仕活動は奉仕の訓練：We Serveは個々の力を結集しGoalは大きな集団奉仕 I Serveも同じだがGoalではなくロータリーはトレンディング。利他の心で！



矢尾主成会員

今回初めての参加ということでしたが、色々とロータリーについて知らなかった事も学ぶことができ有意義でした。いま私たちが「生かされている」地球上では、国家間や民族間で悲惨な紛争が読みています。身近なところでは、昨年日中友好40周年という記念すべき年に、突如関係悪化というまことに残念な展開となりました。一触即発の危機状態を、冷静な大局観に立って解決する外交努力が国民各層において強く求められています。

問題解決の鍵となるのは、わが日本人としての「アイデンティティー」（特性）にあることを訴えたいと思います。一言でいえば「平和力」であります。「誠」を尽し、「多様性」を尊重し、究極は「共栄共生」を追求する「大和魂」に自信と誇りを持って、ますます進展するグローバル時代に臨みたいものです。論語にある「忠恕」（まごころと思いや）の精神こそ、ロータリアンの原点であると考えます。



ニコニコ箱 …… 19,000円

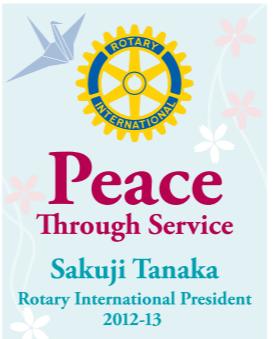
○佐々木会長 ○山田 洋三 ○土田 秀明  
○平山 富三 ○白崎 弘康 ○宮本 俊  
○白崎 裕二

4つのテストは商売繁盛の呪文だった。世界に344,400、日本に2,290程あるクラブに出席できる。あなたの意志で！友人は123万人、日本で88,800名。

ハチドリのひとしずく：今、私に出来ること「私はわたしに出来ることをしているだけ！」バッジが輝くのはあなた次第。私はロータリーを学び社会のために何ができるか、それを探り実践していく、この時こそ胸のバッジが輝く。

ロータリアンであり読ける条件

自分と家族の健康、そして仲間の微笑み、それは生きていることと同意語。1905年最初の例会は4名、2名が後に退会している。一人は健康上の理由、もう一人は経済上の理由で退会。理想的な退会は天寿退会。ロータリーは与えられるものではなく、あなたが自分で創るものです。



2012-2013 RI テーマ  
奉仕を通じて平和を

創立／1954年（昭和29年）6月30日 事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内

TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

例会日／毎週火曜日 例会場／武生商工会館内

会長／佐々木忠彦 幹事／河嶋 一 会報委員長／丹羽 新吾

# TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

Bridge the Gaps

2012-2013 第2650地区テーマ  
隔たりをなくそう

## 第2863回 例会記録 平成25年4月16日(火)

会員総数59名（内出席免除会員6名） 本日出席会員36名

メークアップ（前々回） 8名

出席率（前々回補正） 85.45%

ロータリーソング「それでこそロータリー」

会長挨拶 佐々木会長

4月20日は「穀雨」です。田んぼや畑の準備が整い、それに合わせるように柔らかな春の雨が降る頃です。この頃より変わりやすい春の天気も安定し、陽射しも強まります。今週一週間はなんとか晴れが続きそうですね。



日本最大の湖に深い山々、古代日本の中心ともなり、歴史が幾重にも重なり合う山紫水明の地「近江の国滋賀」。国宝・重要文化財の宝庫であり、神秘的であり、心の故郷でもあるこの都で、先日の13日(土)と14日(日)の両日滋賀県大津市の琵琶湖ホールにて第2650地区の地区大会が開催されました。例会アワーで大会参加報告があると思いますので、本大会以外の事をお話しします。

地区委員兼幹事の河嶋さんと私は13日の昼前こちらを立ちました。朝から淡路島地震のニュースで賑わっていたのは知っています。乗る予定の電車は運休とのことで、私は府中クラブの会長幹事さん方と同じ特急電車「しらさぎ」に乗りました。米原から新幹線に乗って京都経由で大津へ入りました。2時間弱の旅でした。府中さん方は米原から各駅停車で合計3時間半もかかったそうです。会長・幹事会議の開始時には半分しか席が埋まっていませんでしたが、二時間後の閉会時には全員出席で全て埋まっていましたが、ひとつ違えば結果が大きいことが良く解りましたが、先が見透せないのが人生ですね。

17時からの琵琶湖ホテルでのRI会長代理ご夫妻歓迎晚餐会は最初の挨拶関係の時間が45分もかかり、すっかりお腹もすきました。私は幹事として宝ヶ池ホテルの晚餐会に2度出させていただきましたが、今回はちょっと長過ぎた感じでした。宝ヶ池ホテルは庭も眺められて開放的な感じでしたが、今回は外も見えなくて閉鎖的でした。しかし広さは十分で、ゆったりしていました。

福井クラブの野村会長が隣の席でしたので、福井クラブの事情なども聞かせて頂きました。会員増強が一番の重要課題だそうです。どのクラブも同じだと感じました。

その夜の宿泊は大津プリンスホテルでした。私は自宅でも窓のカーテンは開けて休むのですが、19階からの琵琶湖の夜景は素晴らしい、フルオープンで休みました。翌日は朝日が湖面に輝き、ランニングや釣りを楽しむ人々がいっぱいでした。

7時頃にロビーに降りるエレベーターに乗ったところ十数人の乗客がいましたが、私以外全て中国語（?）を話す人ばかりでした。36階のレストランでも同じ雰囲気でした。日本の景気が悪いのか、大陸の景気が良過ぎるのか考えさせられました。

今日の一言：「人生の三カン王

《関心・感動・感謝》 加山雄三

## プログラム

地区大会報告 宮本 俊会員

私事、4月13日誕生日に家族と離れ、親睦委員長として皆様とご一緒できる喜びに、はらはらと涙を流しておりました。地区大会そのものよりも観光について。石清水八幡宮：山田会員から大塩八幡宮への依頼。正式なお祓い、40年前に色塗りも含めた改修いわゆる伝統的な朱色が鮮やか長さ21.6m厚さ3cmの金の

